

地方でこそ輝け10代! 若者の社会参加・政治参画

少子高齢化が進む中、未来を担う若い世代の意見が様々な分野で必要とされています。八戸市には精力的に地域づくり活動を行っている女子高生たちがいます。その名も「JKchan (ジェイケーちゃん)」! 今回は、JKchanの代表である杏奈さんにお話を伺いました。



2021年八戸市長選挙の公開討論会
YouTube配信の様子

地域で大活躍! JKchanの活動とは

JKchanは、現在、杏奈さんとはさんの2名で活動しています。JKchanという名前は、大人気アイドルグループ「ももいろクローバーZ」の冠番組である「ももクロちゃん」をオマージュしたものです。メンバーの元気が伝わってきます。JKchanのテーマは、「女子高生のアラサーライフいまちづくり」。JK、つまり女子高生ならではの視点から、まちづくりをしていくことを目的としているそうです。主な活動は、ピーエフエムでのラジオ放送やイベントの開催。2021年の八戸市長選挙や階上町長選挙では、公開討論会を開いていきました。候補者に可愛い力チューンシャをつけてもらったり、あだ名で呼び合っていることに憧れがあるそうです。

ながら、まさしく「JKのノリ」で討論を進める様子をYouTubeで配信。地元の影響を呼びました。

18歳の政治参画ってどう思う??

平成27年6月の公職選挙法の改正に伴い、18歳から選挙への投票権を得ることになりました。公開討論会も開催している杏奈さん。このことをどう捉えているのでしょうか?

「高校一年生の政治・経済の授業で、選挙に行こうとしている人があまりにも少なかったことに衝撃を受けました」と語る杏奈さん。なぜ選挙に関心を持つことができないのか、学校でアンケートを採ったそうです。すると、「難しいと感じている」「身近に感じない」「興味が無い」といった答えが挙げられました。

その要因のひとつに、現在の政治は、高齢者や大人の方ばかりを向いており、若い人たちは社会から疎外されていると感じているのではないかと、杏奈さんは考えます。若い人の方を向いてもらうためにも、若い人が積極的に選挙に参加し、若者の声を広めていくことが必要と考え、公開討論会を開催しました。

若者に関心を持ってもらうためにも、公開討論会は硬い雰囲気ではなく、明るくフランクな雰囲気を感じてもらうそうです。

男子もウェルカム! 若い世代が活躍できるまちに

今年の3月で高校を卒業する杏奈さんですが、卒業後はプロデューサー的なポジションで、今後のJKchanを支えていきたいと語ってくれました。

今までは何もわからないまま活動してきたので、真面目に活動してきてしまったのですが、本来目指していたJKchanの活動は、むしろ破天荒で楽しく「JKだから許される」ことを突き詰めていくもの。

「自分達が楽しいと思える活動を、遊び感覚で続けていってほしい」と後輩への思いを語ってくれました。もしも男子が入りたい!と言ってきたらどうしますか?という質問に対しては、「もちろん大歓迎!名前をDK(男子高校生)に変えても一緒にやっていきたいと思います(笑)」と元気に答えてくれました。今後10代が持つ眩いばかりの煌めきを大切に、楽しく活動していきましょう! (取材・小田桐 咲)



八戸まちなかひろば「マチニワ」にて、JKchanプロジェクト発足イベント「ピーエフエムラジオ放送での公開収録の様子」

結婚したい?したくない? JKのガールズトークに迫る!

令和4年4月の成年年齢の変更とともに、女性の結婚可能年齢が16歳から18歳に引き上げられ、男女とも18歳になりました。杏奈さんの周りには結婚したくない友人が多いそうです。結婚の必要性を感じていなかったり、結婚・出産に対する精神的・肉体的な負担を心配する声があると。

その中で、杏奈さんは早めの結婚・出産希望派。子どもが大好きな杏奈さんは、子どもと楽しく生活す

「成年年齢引き下げ」 当事者の10代はどう感じているの

- 親の同意がなくても契約できる
携帯電話の契約、ローンを組む、クレジットカードをつくる、一人暮らしの部屋を借りる など



代表 杏奈さん JKchan

▶杏奈さん
「これまでは『未成年』ということで法律的にも守られてきた部分がありましたが、未成年取り消しができなくなるなど、状況が変化しました。進学先によっては実家を離れる予定です。身近な頼り先がなくなってしまうことは、非常に怖いと感じているので、早めに信頼できる友人を増やし、初対面の人には慎重に接して、自分の身を守るように心がけています。」

- 性同一性障害の人が性別の取扱いの変更審判を受けられる
- ▶杏奈さん
「身近に同性のカップルがいますが、自分の周りでは寛容に受け入れている人が多いと思います。そういった人たちが早い段階で性別変更できるのは羨ましいことだと思います。昔に比べれば理解が進んでいるとは思いますが、国や社会としてのケアは足りていないので周りの人の反応が心配です。」

◇◇ 性暴力に関する相談窓口 ◇◇

●性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター (全国共通短番番号「#8891」(はやくワンストップ))

●「Cure Time (キュアタイム)」

アダルトビデオ出演強要問題、「JKビジネス」問題を含む若年層の性暴力被害等、性暴力に関する相談をチャットで受付けています。
<https://curetime.jp/>



10代有権者の投票率の比較

	2017年 (H29年) 衆議院議員総選挙	2019年 (R元年) 参議院議員通常選挙	2021年 (R3年) 衆議院議員総選挙	2022年 (R4年) 参議院議員通常選挙
18歳	50.74%	35.62%	50.36%	40.06%
19歳	32.34%	28.83%	35.93%	30.66%
10代全体	41.51%	32.28%	43.21%	35.42%
全世代	53.68%	48.80%	55.93%	52.05%

出典：総務省「国政選挙における年代別投票率の推移について」より作成

18歳の投票率は意外と高い

10代の投票率は、19歳よりも18歳のほうが高く、「令和4年の参議院議員通常選挙」の投票率を見ると、19歳は30.66%なのに対して、18歳は40.06%となっています。総務省の「18歳選挙権に関する意識調査」では、18歳の投票のきっかけは「親や先生からのすすめ」が最も多く、学校で選挙や政治に関する授業を受けた人の方が投票率が高くなるそうです。19歳の投票に行かなかった人の理由では、「今住んでいる市区町村で投票することができなかった」が最も多く、住民票の異動の問題、不在者投票制度の周知などが、学校や親元を離れた19歳の政治参加に向けた課題と言えます。